

## 本校学生における Grit と就学状況の関係

畑 本 大 介\*<sup>§</sup> 鈴 木 真 紀 子\*

[要 旨] 臨床検査技師養成校は、国家資格取得を目指す学生が入学してきている。しかし、様々な要因で就学が困難となり退学してしまう学生が少なからず存在する。近年、才能などに関係無く物事を成功させる能力である Grit(やり抜く力)が注目されている。今回我々は、休・退学となってしまう可能性が高いと予想される学生を事前に把握して、より良い指導を行っていくことを目的として、学生の Grit スコアを調べて就学状況との関係性について検討した。対象を A 群(就学状況に問題が無い)と B 群(過去の上級学校の経験も含めた休・退学者、欠席数が多い)に分けて、それぞれの Grit スコアを比較した。また Grit スコアのカットオフ値を算出した。結果として Grit スコアの比較により、就学困難となる学生を見つけられる可能性が示唆された。今後は Grit スコアの活用範囲を入学後の学生だけでなく、入学前の学生にも広げられないかを調査したい。

[キーワード] Grit、臨床検査技師養成校、就学状況

### I. 目 的

医療系大学、短期大学、専門学校は国家資格取得を目指す学生が集まる場所である。入学時に目的が明確になっているはずではあるが、様々な要因で休学退学となってしまう学生が少なからず存在する。近年、長期的な取り組みを必要とする目標達成に影響する人格特性として Grit が挙げられている<sup>1)</sup>。Grit とは、誘惑を避けて目標を達成する自己コントロールと、困難を越えて目標を追求する熱意を合わせた人格特性である。Grit は、学業成績やスペリングコンテストの成績<sup>2)</sup>、高校の退学率、転職の少なさ、陸軍士官学校の士官候補生の厳しい訓練の中での脱落率を予測すること<sup>3)</sup>が報告されている。そこで Grit を計測するアンケートを用いて、休退学者、欠席数が多い者と就学状況に問題が無い者、各々の Grit スコアを

計測して学校生活を継続できない学生を見抜き、就学に問題を来たし得る学生には特に配慮することを目的として調査を行った。

### II. 対象および方法

本学科卒業生、在校生、休退学者 124 名中、同意の得られた 119 名を対象とした。内訳は男性 43 名、女性 76 名で平均年齢±標準偏差は 20.2 歳±3.9 歳であった。Grit スコアを測定するためのアンケートの詳細は表 1 の通りである<sup>4)</sup>。アンケートは、事前に本研究の趣旨目的、本研究への参加は任意であり、成績評価などに影響することは一切ないことを説明し、同意を得て行った。Grit スコアの測定は 10 項目の質問に対して「まったく当てはまらない」から「非常に当てはまる」までの 5 段階で回答し、合計点を 10 で割ったものとしている。スコアは最低点である 1.0 点

\*静岡医療科学専門学校医学検査学科 <sup>§</sup>d.hatamoto@shiz-med-sci.ac.jp

表1 Grit スコア計測用アンケート

	まったく 当てはま らない	あまり 当てはま らない	いくらか 当て はまる	かなり 当て はまる	非常に 当て はまる
1. 新しいアイデアやプロジェクトが出てくると、ついそちらに気を取られてしまう。	5	4	3	2	1
2. 私は挫折をしてもめげない。簡単にはあきらめない。	1	2	3	4	5
3. 目標を設定しても、すぐ別の目標に乗り換えることが多い。	5	4	3	2	1
4. 私は努力家だ。	1	2	3	4	5
5. 達成まで何ヶ月もかかることに、ずっと集中して取り組むことがなかなかできない。	5	4	3	2	1
6. いちど始めたことは、必ずやり遂げる。	1	2	3	4	5
7. 興味の対象が毎年のように変わる。	5	4	3	2	1
8. 私は勤勉だ。絶対にあきらめない。	1	2	3	4	5
9. アイデアやプロジェクトに夢になっても、すぐに興味を失ってしまったことがある。	5	4	3	2	1
10. 重要な課題を克服するために、挫折を乗り越えた経験がある。	1	2	3	4	5

から 0.1 点刻みで最高点である 5.0 点まで存在する。

対象学生は学業成績を考慮せずに、就学状況に問題が無い A 群 (92 名) と、休退学者、欠席数が多い B 群 (27 名) に分けて、t 検定にて有意差をみた。また ROC 曲線より Grit スコアのカットオフ値を求めた。統計解析には R (version 3.4.3) を用いて、正規性の検定 (Kolmogorov-Smirnov 検定)、2 群間の平均値の比較 (t 検定)、定量検査の診断への正確度の評価 (ROC 曲線) の解析を行った。

### III. 結 果

Grit スコアの分布は、変数の分布は正規分布に従うという帰無仮説は棄却されなかったため ( $p > 0.05$ )、正規分布に従うと考えた。Grit スコアの平均値 ± 標準偏差は、就学状況に問題が無い A 群で  $3.06 \pm 0.48$ 、休退学者、欠席数が多い B 群で  $2.83 \pm 0.63$  であった。よって t 検定において A 群は、B 群に比べて有意に ( $p < 0.05$ ) Grit スコアが高かった。アンケート項目毎の平均値、標準偏差、有意差を表 2 に示す。また、Grit スコアのカットオフ値は 2.9 となり感度は 52%、特異度は 60% となった。

### IV. 考 察

元来、医療系専門学校に入学した学生も、その他の高等教育を受ける大学等と同様に、その専門教育を履修する素養があるかどうかを識別するための入学試験に合格してきている。しかし、専門学校入学者の学歴で高等学校新規卒業者は 60.6% に留まり<sup>5)</sup>、それ以外にも大学卒業等、多種多様な人材が集まるため、入学試験の難易度調整が困難となる可能性がある。そして入学難易度を下げ、進級卒業の判定を厳しく行う教育施設が多いことが予想される。つまり入学試験が、その後の学問を修められるかどうかの判定と密接には関係していないという事も、退学を希望する学生が少なからず存在してしまう要因の一つと考えられるのではないだろうか。

そこで本研究では、学生が臨床検査技師になるための専門教育を受ける際に、Grit という性格特性を考慮に入れる必要があるかどうかを明らかにすることを目的とし、本校の学生を対象として、Grit と就学状況の関係を検討した。

その結果、休退学者、欠席数が多い学生は、就学状況に問題が無い学生に比べて有意に Grit スコアが低かった。今回のアンケート調査において、

表2 項目毎の結果

	A 群		B 群		有意差
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	
Grit スコア	3.06	0.48	2.83	0.63	p<0.05
1. 新しいアイデアやプロジェクトが出てくると、ついそちらに気を取られてしまう。	3.24	0.74	3.11	0.96	n.s.
2. 私は挫折をしてもめげない。簡単にはあきらめない。	3.00	0.83	2.59	0.73	p<0.05
3. 目標を設定しても、すぐ別の目標に 乗り換えることが多い。	3.35	0.76	3.41	0.78	n.s.
4. 私は努力家だ。	2.61	0.87	2.26	0.80	p<0.05
5. 達成まで何ヶ月もかかることに、ずっと集中して取り組むことがなかなかできない。	3.02	0.88	3.04	0.92	n.s.
6. いちど始めたことは、必ずやり遂げる。	3.00	0.85	2.48	0.83	p<0.05
7. 興味の対象が毎年のように変わる。	3.52	0.95	3.30	1.01	n.s.
8. 私は勤勉だ。絶対にあきらめない。	2.61	0.85	2.22	0.84	p<0.05
9. アイデアやプロジェクトに夢中になっても、すぐに興味を失ってしまったことがある。	3.49	0.79	3.15	0.89	p<0.05
10. 重要な課題を克服するために、挫折を乗り越えた経験がある。	2.84	0.94	3.00	0.86	n.s.

項目毎に見ると、就学状況に問題が無い A 群と休退学者、欠席数が多い B 群の間に有意差を認めない設問もあった。その一例が設問 10 の“重要な課題を克服するために挫折を乗り越えた経験がある”である。この結果は前述の、医療系専門学校が大学に比べて入試難易度自体は下げざるを得ない、という状況に起因しているのかもしれない。しかし、Grit スコアは設問 10 項目の平均値を用いることになっているため、結果として A 群と B 群の Grit スコアには有意差があったということになる。よって Grit スコアを測定することで、就学困難となってしまいかもしれない学生を事前に把握して、早期により手厚くサポート出来る可能性が示唆された。

現在は、入学後の学生を対象として本アンケート調査を行っているが、今後は入学前にも実施出来ないかを模索している。具体的な方法として、毎年度 6 回行われる本校のオープンキャンパスの際の実施が考えられる。当学科へ入学する者の大半が、少なくとも 1 回はオープンキャンパスに参加している。そこで、プライバシーの問題などに配慮しながらアンケート調査を行うことも検討していきたい。

## V. 結 語

今後も継続的にアンケートを続けることにより、現在は就学状況に問題が無いものの Grit スコアが低値となった学生への対応を充実させていけると考えている。

## 文 献

- 1) Duckworth AL, Peterson C, Matthews MD, et al. Grit: perseverance and passion for long-term goals. *J Pers Soc Psychol* 2007; 92: 1087-101.
- 2) Duckworth AL, Kirby T, Tsukayama E, et al. Deliberate practice spells success: Why grittier competitors triumph at the National Spelling Bee. *Soc Psychol Personal Sci* 2011; 2: 174-81.
- 3) Eskreis-Winkler L, Shulman EP, Beal SA, et al. The grit effect: predicting retention in the military, the workplace, school and marriage. *Front Psychol* 2014; 5: 36.
- 4) アンジェラ ダックワース. やり抜く力. 神崎朗子 訳. 東京: ダイヤモンド社; 2016. p.1074.
- 5) 専門学校への入学者の学歴, 文部科学省, 2013. [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/koutou/057/gijiroku/\\_icsFiles/afiedfile/2013/05/13/1334845\\_04\\_2.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/057/gijiroku/_icsFiles/afiedfile/2013/05/13/1334845_04_2.pdf)